2023年度第5回 JA北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2023年8月3日 (木)
開催場所	書面開催
書面審査委員名	保前 英希「委員長」、髙村 圭、山内 英智、宮本 憲幸、吉田 晃 田村 広志、佐々木 亮、助川 麻衣子 外部委員:北村 延夫、岩田 明子
委員数	審查委員数:10名/全委員数:10名
審議課題:審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2023-039
審議案件名	胃癌・腹膜播種症例に対し、経皮経食道移管挿入術(PTEG)を施行し、在宅医療可能 とした一例
実施責任者	消化器内科 第1主任部長 柳澤 秀之
審議内容	【迅速審査】本件は症例報告の実施である。介入、侵襲がない為、迅速審査と判断し 審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。
審議結果	承認
研究課題番号	2023-040
	当院における内視鏡胃瘻造設術(PEG)実績の検討
実施責任者	消化器内科 第1主任部長 柳澤 秀之
審議内容	【迅速審査】本件は症例報告の実施である。介入、侵襲がない為、迅速審査と判断し 審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。
審議結果	承認
研究課題番号	2023-041
	全身性エリテマトーデスの再燃に対する免疫抑制剤併用によるステロイド非依存治療 プロトコール開発
実施責任者	消化器内科 部長 清水 裕香
審議内容	【迅速審査】本件は、令和2年6月に承認された迅速検査の研究の変更申請である。 多施設共同研究の研究分担医師の変更、また研究期間が延長になったこと等軽微な 申請である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。
審議結果	承認
研究課題番号	2023-042
	東日本における強皮症関連肺高血圧症コホート研究:HAPPINESS study (A cohort study in HigAshi-nippon of Pulmonary hyPertensIoN in systEmic SclerosiS)
実施責任者	消化器内科 部長 清水 裕香
審議内容	【迅速審査】本件は、令和4年11月に既に承認された研究であり、多施設共同機関の変更、研究課題名の変更、研究計画書の一部改訂による変更申請でありいずれも軽微な変更である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。
審議結果	承認
研究課題番号	2023-043
	ニューモシスチス肺炎のCT所見と予後についての研究
実施責任者	消化器内科 部長 清水 裕香
	【迅速審査】本件は2007年1月1日から2023年3月31日までの期間でニューモシスチス肺炎と診断された患者を対象にした後向き観察研究であり、既存のデータを用いて行う研究の為、介入、侵襲がなく、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。
審議結果	承認

# 審議案件名 第 3回 が		
実施責任者 副院長(兼) 医療技術部長 大野 耕一 【迅速審査】本件は、2021年の1年間でがんと診断され、当院で初回治療を受けた成人のがん患者を対象としたアンケート調査である。 本研究は研究についての情報を研究対象者に院内掲示、ホームページで公開し、又無記名での調査でプライバシーに配慮されていること、任意での参加である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 承認 研究課題番号 2023-045 「日本の事情を表現の事情を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現している。 「日本の事情を表現を表現を表現を表現を表現を表現している。」を表現していました。 「日本の事情を表現を表現していました。」を表現していました。 「日本の事情を研究による機関の表現を表現していました。」を表現していました。 「日本の事情を研究は必要を生き評価する多機関共同で行う後向きを表現は研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 「日本の事情を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 「日本の事情を研究が対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究でありが研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 「日本の事情を表現していました。」を表現していました。 「日本の事情を表現していました。」を表現していました。 「日本の事情を表現していました。」を表現していました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」と述れていました。 「日本の事情を表現していました。」 「日本の事情を表現した。」 「日本の事情を表現していました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現していました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したましたました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したました。」 「日本の事情を表現したましたましたましたませましたませませませませませませませませませませませませ	研究課題番号	2023-044
 審議内容 【迅速審査】本件は、2021年の1年間でがんと診断され、当院で初回治療を受けた成人のがん患者を対象としたアンケート調査である。本研究は研究についての情報を研究対象者に院内掲示、ホームページで公開し、又無記名での調査でプライバシーに配慮されていること、任意での参加である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 審議結果 審議案件名 EGFR遺伝子L858R変異陽性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するRamucirumab + Erlotinibの有効性及び安全性を評価する多機関共同・後方的観察研究(REAL-SPEED) 実施責任者 呼吸器内科 医長 菊池 創 【迅速審査】本件は、EGFR遺伝子L858R変異陽性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するRamucirumab + Erlotinibの有効性及び安全性を評価する多機関共同で行う後向き観察研究である。本研究は研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 承認 研究課題番号 2023-046 審議案件名 事業を付着 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽敵な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 	審議案件名	第3回 がん患者全国患者体験調査
審議内容 お研究は研究についての情報を研究対象者に院内掲示、ホームページで公開し、又無記名での調査でプライバシーに配慮されていること、任意での参加である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 承認 承認 母親	実施責任者	副院長(兼)医療技術部長 大野 耕一
研究課題番号	審議内容	のがん患者を対象としたアンケート調査である。 本研究は研究についての情報を研究対象者に院内掲示、ホームページで公開し、又 無記名での調査でプライバシーに配慮されていること、任意での参加である為、迅速
審議案件名	審議結果	承認
# という	研究課題番号	2023-045
審議内容 【迅速審査】本件は、医GFR遺伝子L858R変異陽性進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するRamucirumab + Erlotinibの有効性及び安全性を評価する多機関共同で行う後向き観察研究である。 本研究は研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 承認 研究課題番号 2023-046 北海道における多発性硬化症とパーキンソン病を対象としたオンライン診療の有用性調査 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。 本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。		
審議内容 おるRamucirumab + Erlotinibの有効性及び安全性を評価する多機関共同で行う後向き観察研究である。 本研究は研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。 審議結果 承認	実施責任者	呼吸器内科 医長 菊池 創
研究課題番号 2023-046 北海道における多発性硬化症とパーキンソン病を対象としたオンライン診療の有用性調査 北海道における多発性硬化症とパーキンソン病を対象としたオンライン診療の有用性調査 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。	審議内容	するRamucirumab + Erlotinibの有効性及び安全性を評価する多機関共同で行う後向き 観察研究である。 本研究は研究についての情報を研究対象者にホームページで公開し、又過去の試料 を使用する観察研究であり研究による侵襲や介入はない為、迅速審査として審査を行
審議案件名 北海道における多発性硬化症とパーキンソン病を対象としたオンライン診療の有用性調査 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。	審議結果	承認
審議案件名 北海道における多発性硬化症とパーキンソン病を対象としたオンライン診療の有用性調査 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。	江 龙细斯采旦	2022_046
#議案件名 調査 調査 調査 実施責任者 副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希 【迅速審査】本件は、多発性硬化症(MS)、パーキンソン病(PD)患者へのオンライン診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。	切 九	2023-040
審議内容	審議案件名	
審議内容 診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。 本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅速審査として審査を行い令和5年8月3日付けで承認とした。	実施責任者	副院長(兼)医療支援部長(兼)医療安全管理室長 保前 英希
審議結果 承認	審議内容	診療の有用性を患者、主治医双方の視点から評価する前向き観察研究である。 本研究は患者への質問票を用いた調査を依頼するもので、軽微な侵襲である為、迅
	審議結果	承認